

第6回リニアまちづくり構想市民委員会 会議録（要約）

平成 25 年 9 月 9 日（月）
午後 3 時から午後 7 時 20 分
恵那市防災センター研修室

【会議次第】

- 市長あいさつ
- 委員長あいさつ

[協議・報告事項]

1. リニアまちづくり構想（素案）について
 - (1) 第1章（現況分析）、2章（リニア開業のインパクトと対応）について
 - (2) 第3章（目指すべき将来像）について
 - (3) 第4章（観光振興・地域振興のための取り組み）について
 - (4) 第5章（産業振興のための取り組み）について
 - (5) 第6章（基盤整備のための取り組み）について
 - (7) 第7章（シンボルプロジェクト）について
2. 今後の進め方について
3. その他
 - (1) リニア中央新幹線計画の最近の動向について

事務局	8月21日に開催したまちづくり講演会に参加した委員の皆様にはお礼を申し上げます。また、市川委員、小板委員、古郡委員の3人におかれましては、まちづくりの中間報告ということでオリンピックの東京招致のプレゼンにも負けないような素晴らしいプレゼンテーションをして頂きましてありがとうございました。それでは只今より第6回目のまちづくり構想市民委員会を開催させて頂く。開会にあたり市長からご挨拶を頂く。
市長	みなさん、こんにちは。本日は大変お忙しい中、リニアまちづくり構想市民委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。一部報道でもあったように、いよいよリニアのルートが公表されるということが、間近に迫ってる。そういったことも視野に入れ、今日はリニアまちづくり構想の素案を示している。リニアのまちづくりがしっかりできるように、みなさんから、ご意見をいただきたい。昨日、テレビで東京オリンピックの招致が決まったという話があり、その時に思ったことは昭和39年の東京オ

	<p>リンピックの時はちょうど新幹線が開通した。そう思うとリニアもその時に合わせてやらないと、と思った。いずれにしても、東京オリンピックの招致は日本には新しい息吹を与えてくれると思う。それに次ぐ、またはそれ以上にリニアがこの地域に新しい息吹を与えてくると思っているのも、そういう意味でも、みなさんのご意見を頂き、リニアを生かしたまちづくりをしっかりとしていきたいと思っている。どうか宜しくお願い致します。</p>
事務局	<p>それでは続いて磯部委員長にご挨拶をお願いします。</p>
磯部委員長	<p>皆さんこんにちは。昨日、今日の話題ですと先に話のあったオリンピックがある。2020年のオリンピックは、いわゆる成熟社会のタイプであり、去年のロンドンオリンピックがまさにそういう話だった。既存の施設を使って大都市の風格を見せるというような話でやっていて東京もそれに習うようだ。そういう時にちょうどリニアというのを大きい時代の流れがあるが、高度成長期の時の東海道新幹線とは違うと思う。これをうまく活用していく。そんなことが大事であると思う。本日はよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、レジュメに従い、本日の協議、報告事項について、ここからの進行を委員長にお願いします。</p>
磯部委員長	<p>それでは一番目、リニアまちづくり構想素案について順次説明して頂く。では、まず第1章・第2章の説明をお願いします。</p>
事務局より中間報告からの変更箇所と追加したデータの資料説明	
磯部委員長	<p>質疑はまとめてやりたいと思う。続いて第3章の説明をお願いします。</p>
事務局より目指すべき将来像の資料説明	
磯部委員長	<p>委員の方は宿題になっているが、まだ検討中ということなので、また後でまとめて質疑したいと思う。では、第4章の説明に移りたいと思う。</p>
事務局より第4章（観光振興・地域振興）に関する資料説明	
磯部委員長	<p>この4章、5章、6章はそれぞれグループで検討している。4章は丸山委員に補足をお願いしたい。</p>
丸山委員	<p>私共のテーマは観光振興と地域振興で、観光に関する事、食に関する事、それから地域の振興に関する事、移住・定住に関する事ということである。グループ会議の中でみなさんからいろいろいい案を頂いた。特に観光に関する事だが、恵那市の観光資源は、恵那峡、中山道、日本大正村、岩村城、城下町、坂折棚田という風にあがっているが、これひとつずつの資源が、来るお客様にとって、本当に魅力があるかということ。現在は恵那峡と中山道については平成26年度から実施される予定となっている。岩村についてはすでに電線が地中化され、かなり良くなっており、それなりの観光資源と思っている。一方、日本大正村については、年々、観光客も落ちている状況である。坂折棚田については、今後15年20年先を見据えた時に本当に担い手がいて、この景観が保たれていくかということ。これから10年15年の中でどうやってこの景観を保持していき、棚田の保全をど</p>

	<p>うしていくかという事が大きな課題。それから当然、市内のそうした観光をブラッシュアップし、自然的、歴史的にあるいは景観的のいろいろと整備を進めていく事になる。また、東濃5市がひとつになって、連携しながら、どうやってお客様を誘客するかということも大事かと思う。特に南部については豊田との連携である。</p> <p>それから、もうひとつは観光ガイドの関係でガイドの育成、観光に携わる人材の育成が大変遅れている。このあたりところもしっかり計画を立てて推し進めいく必要がある。</p> <p>また、首都圏をターゲットに絞っているが、恵那市は首都圏では非常に知名度が弱い。単独で東京でのPR作戦というのは大変であるので、東濃地域で連携し首都圏でPRできる拠点を整備し、まちづくりなり、観光開発に生かすということが大事だと思う。</p> <p>それから、食だが、特に恵那市というのは北の食物も南の食物もちょうど中間点にあって、あらゆるものができる。食の材料はかなり豊富であると言えるので、今も説明があったように新しいものを開発したり、スローフードを生かした取組も必要と思う。</p> <p>移住・定住については、モデルハウスを作って、恵那らしい暮らしはこういうような生活ができますといったPRをしていく。もちろん空き家の活用も必要といえる。</p> <p>地域活動については、それぞれの地域で活動が活発に行われているが、私はみんなに任せて知らないという事がないように皆がなんらかの形で地域活動に携えるようなそんな仕組みを作っていくのも大事だと思う。</p> <p>活発にいろいろな話が出てきたので、それらを事務局でまとめたのが、今のお手元にある資料である。</p>
磯部委員長	<p>いろんな議論をされたというのはよく分かる。ほかの委員の方々もご意見なりご質問を頂きたいと思う。</p> <p>恵那市らしいという事で言葉としてはあるが、具体的にどんな様子かなという話題もあるし、何をしていくんだという話ももちろん課題としてはあると思うが、テーマ出しという状況であると思う。</p>
竹内アドバイザー	<p>2点ほど申し上げたいと思う。今、説明頂いた観光に関しても本当に良く網羅されて、この地域の魅力みたいなものをほとんど発掘されたのではないかと思う。この作業については本当に敬意を表したい。とてもいい地域の魅力探しができていると思う。ただ、私が申し上げたいのは、観光客をこの地域にどうやってひきつけるかを考えると、構想素案に出ているのは網羅的すぎて、この地域の特色が見えこない。要するに観光で人を呼ぶ時には観光の物語を作り、柱を立てて話を組み立てていかないといけないのではと思う。関連することがみんな出ているが、これを人に話す時に特色がある地域なんだということを簡単に説明できるようにしていき、視覚にも訴えたアピールをしていく必要がある。</p>

	<p>やっぱりこの地域の中心、軸になるのは、中山道だと思う。新幹線の駅でこれほど、昔の有名な街道筋に近い駅はないと思う。これを訴えていかなければいけない。現在できている新幹線の中でも、これほど街道と宿場を訪ねていくのにいい起点はないと思う。ですから、それと自然の里山を結びつけたことでひとつの話を作って映像でも作ればもったいい。そういうことを考えていく必要が今後はあるのではないかと思う。素材は出てきたので、これを組み立ててどうアピールするかという事。</p> <p>もうひとつは、近代文化遺産だ。ダムの話である。また、明知鉄道にSLが走り出せば、あるいは明知鉄道の歴史からいくと、必ずしもSLでなくてもいい。電車の歴史としてもかなり早い。大井の町にも確か路面電車があったはず。</p> <p>岩村はこの前からお話しているように、江戸の中期に重要な町であるが、近世から近代の明治へ移っていくあたりのところでも注目すべき文化遺産の多いところであるから、それでもうひとつ話ができる。このあたりを、少しメリハリをつけていくことが必要と思う。それが一点である。</p> <p>もうひとつはスロートーリズムという言葉を取り入れて頂いて大変喜んでいる。スロートーリズムは、スローライフという事。スローライフに馴染んだツーリズムという意味であり、要するに手をかけて地元の食材を使って地域の伝統的な料理方で地元のお母さん達がじっくり仕込んだ料理そういうのを慌てずにじっくり食べようではないですかというのがイタリアで始まったところのスローフードで、それから出てきているのがスロートーリズムである。時速500キロで走る新幹線とスロートーリズムがどうして結び付くんだという事の理屈を組み立てていただくといい。</p> <p>ともかくスロートーリズムの特色は、マスツーリズム団体旅行は辞めようという反省からスロートーリズムというのが出てきている。なので、スロートーリズムというのは観光バスで押しかける形のものではない。リニア新幹線で首都圏から訪れて、そこから先はレンタカーを借りる。レンタカーが非常に重要だと思うが、それから上手く明知鉄道と連絡がついていれば、明知鉄道の駅からは歩くくらいがいいのかと思う。レンタサイクルというのも考えた方がいいのかもしれない。問題は駅に降り立った人達をどうやってこのスロートーリズムを楽しんで頂けるようなサービスシステムを作るかという事。必ずしも開発されているものがあるとは限らないので、そのあたりをこの先は考えていただくといいかなと思う。</p>
磯部委員長	何かみなさまの方でご意見あるか。
委員	<p>竹内先生の話で、観光にはストーリー性が必要だというのは大変面白いなと思って、その中では中山道という事をおっしゃられたが、馬籠辺りとは違って、恵那に限って言うと中山道というものに関してはほとんど何も残っていないというように感じているが、中山道は今後、どのようにすればいいか。</p>

竹内アドバイザー	<p>中山道の魅力は、やっぱり街道歩きだと思う。この前も中津川の駅の観光案内所でパンフレットを見ていたら、大井から西しかない。大井の東がない。その落合から北へ上がって行くとまたある。確かに中津川から恵那の間が抜けている。私はここらにもう少し発掘する余地があると思う。</p> <p>あとで基盤整備のところでお話しようと思っていたが、中山道が県道で幹線道路となっているが、この際それはずしてもう一度、街道として人々に歩いてもらう道にしてもいいと思う。リニアの駅にかなり近くなる訳なので、中山道にこんなに近い新幹線の駅はないと言ったのはその意味。</p> <p>そういう事からいくと、今の疑問というのは私も初めそう思っていたが、これからもう一度発掘してみるといいのではないかと思う。</p> <p>それから実際に私は恵那の駅前、大井から細久手宿、大湫宿まで歩いた事があるが、あの辺りを歩くこともとても楽しい。だからそういう物を上手く売り込むといい。観光開発とはそういう事ではないかと思う。</p>
磯部委員長	あと、よろしいか。
委員	<p>中山道の話がでたので、大井町地域で取り組んでいる現状について紹介する。大井町には現在7件ほどの歴史的建造物がある。都会の方の認識として、妻籠、奈良井宿、馬籠という所に行くと確かに風情は残しているが、都会と変わらない人混みがある。それに比べ風情はあまり残っていないが大井宿は自由に時間が費やせるということがある。中山道大井宿を中心として武並神社という重要文化財があり、歴史的風致維持向上事業の地域に認定された。従って、今後それをどのようにハード的な仕事とするか今検討しているが、これが平成26年からの実行に向けての段取りになっていくと思っている。</p> <p>ひとつとしては、たまたま明治の時代に明治天皇が泊まれた岩井さんというお宅があり、今は行在所（あんざいしよ）として残しており、あと6軒については持ち主に理解を得てどのような保全をしていくのかというような課題がある。</p> <p>また、中津川から恵那の案内ルートや大井宿から大湫までへの案内などを隣接の自治体と十分連携をしていく事によって全体を完成すれば、中山道全体の案内になる。当然両自治体や隣接する観光協会等含めて連携を深めていく必要がある。</p>
磯部委員長	道というのは空間が残っている。古い町並みが残っているのを期待するのは無理。この場所の空間に立っているという事が大事。その雰囲気味わってもらった方がいいと思う。そういう意味では何もないと言いながら、空間は残っている。それが一番大事な資源だ。
委員	観光資源として物しか出ていない。実は本当の観光資源とは物じゃなくて人ではないかなと思う。私はIターンなので非常に良く分かるが恵那の方は非常に舌が肥えている。だから、日本一の舌を持っている恵那人くらいなキャッチコピーでやると更に食文化が向上すると思う。和菓子からさま

	<p>ざまなものがあるが、結局それを作っている人がいなかったら、おしまいになってしまう。人に焦点を当てて、こういう人がいますみたいな、これが観光資源ですという風な方向性もぜひ持って頂きたい。</p>
磯部委員長	<p>いろいろと歴史上の人物だけじゃなくて、今ここにいるみなさんがそれぞれ魅力ある人間だという事だ。では、4章の次の5章の説明をして頂きたい。</p>
事務局より第5章（産業振興）に関する資料説明	
磯部委員長	<p>このグループを代表して引字委員からコメントなり追加をお願いする。</p>
委員	<p>まず企業誘致・工業に関することで、市内全域に光ファイバーが設置されているということは全国的にみてもかなり少ないという話を聞いて、それに向けての誘致だったりIT産業だったりの誘致をもっと力を入れてやったらどうかという意見が出た。また、移住・定住では首都圏への1時間圏内ということで、市内から東京の会社へ通勤するとか、こちらへ企業を誘致して、東京から恵那へ出勤するという方法も取れるのではないかという意見も出た。あと商業に関して、特に恵那の玄関口の恵那駅前商店街について、後継者が少ないということで、そういった課題をなんとか克服できるようにしたい。中山道を有効活用し、伊勢のおかげ横丁のような形で本陣から大井橋付近まで商店的なものを作って、その流れから駅前の商店街へ向けることはできないかという意見も出ている。農業に関してはクライアントを設けて首都圏から体験型の農業をして頂く、例えば初心者の方なら、摘んで食して頂くような形だけでもいいと思う。地元の方がその管理をするのがいいとの意見も出ている。</p>
磯部委員長	<p>ご質問、ご意見はないか。</p>
委員	<p>リニアが甲府を通過して、伊那を通過して恵那を通過するわけで、この3箇所の特徴というのは日照時間が非常に長い。今、いろいろの策を練ってリニアがきたらどうやって儲けようかという話だと思うが、最もコンスタントに儲かる方法はリニアが動いている間、電力を供給することではと思う。このリニアの地域というのは日照率の高さと同時に小水力、バイオマスなど天然資源がたくさんある。多分、これをやると、リニアが動いている以上、未来永劫、JRと契約しないといけないが確実にお金が入ってくる。そういう事も何か考えて頂くといいと思う。また、これは山梨県とか長野県と協働して行うといいと思う。</p>
磯部委員長	<p>つまりエネルギーを作り出すという話だ。それが自前でやるのか企業誘致とか、いろいろな手はあると思う。ひとつのアイデアだ。</p>
委員	<p>農林業に関することで、いくつかが記述されている。リニアの開通時、平成39年には恵那市全体の人口も減っていくという見方の中で、耕作放棄地が順に増えている。これについては、農業の担い手の問題や農業従事者が高齢化していくという状況があり、良い手立てがないという状況にきていると思う。</p>

	<p>この課題を考えていくためにも、JAとか農業委員会等をはじめとする農業関係団体と農業を行っている方を含めて、農と林に関する新たな公社的な形でその地域のそういった課題に取り組める団体を作り、この団体が例えば農業再建をすとか、あるいは都会の若い人に、新しい農業生産についての形態育成をしていく事によって、新たな勤労の場を作ることができる。</p> <p>これらを誰が指導していくのか、現状のまま手を付けずにおけば非常に弱くなる。今後、どういう方針でやっていくのか盛り込んでいく必要があると思う。</p>
磯部委員長	<p>日本の農政全体の話と同じだと思いますが、確かに個人個人の農業従事者だけの努力では難しい。組織化という話は必要になるのかなと感じた。他にいかがか。</p>
竹内アドバイザー	<p>この産業誘致、企業誘致、工業に関する事という話の中に従業員の宿舎、住み家の供給ができるという事を、書き込んでいく事が非常に重要だという事を指摘したい。</p> <p>総合車両所自体が、千人前後の従業員の雇用を創出されているが、それに関連して関連事業所がいろいろ立地する余地はある。こういうところに一定の都市的サービスレベルで生活できる住宅が供給できるかどうかの方が大切。先ほども写真で出てきた武並のサニーハイツのようなものを供給できるということをアピールすることが大事。</p> <p>こういう議論を企業誘致の中でアピールできるようにした方がいいのではと思う。それから、さきほど駒宮委員が言われた再生可能エネルギーは、今、固定価格買取もできたから、電力会社を経由して売り込めばいいのだが、その話はとても事業にとってもいい話だとは思う。飯田市がかなり本格的に取り組んでいる。飯田は太陽光と小水力とそれからバイオとみんなやっている。</p>
磯部委員長	<p>次に第6章の説明をお願いします。</p>
事務局より第6章（地域づくりを支える基盤整備）に関する資料説明	
磯部委員長	<p>これもグループを代表して市川委員にコメントお願いしたい。</p>
委員	<p>広域アクセスとして、濃飛横断については、県の方の考え方も方向付けされた。南側については、三河東美濃連絡道路というのがあるが、期成同盟会を設置し、すでに18年間が経過している。私は13地域の連絡協議会の立場としてこの委員会に出席しているなか、特にこのアクセスの課題について13地域が今後リニアに関してどういうまちづくりをしていくのかという、三河東美濃連絡道路のルート上からいくと、まちづくりについての構想が浮かばない。豊田市あるいは瀬戸市、岡崎市に向かった道路を考えて欲しいという話がある。</p> <p>それから、JR恵那駅北側から北ルートに至るまでの間の住宅基盤が整備されていない。従って、恵那駅北側の広場を含めた基盤整備、また北ルー</p>

	<p>トについては、改良すべき箇所もある。この道路がリニア駅へアクセスする道路として、桜がいいのか紅葉がいいのか分からないが、県道恵那峡線のような、街路樹を植栽しながら、少し洒落た道として表現をされたらどうかという話もあった。併せて、白っぽいガードレールでは、あまりにも色気がないので、この地域では間伐材を利用したものをガードレールにしたらどうかという提案もあった。</p> <p>北ルートと県道苗木恵那線、中山道との関連だが、中山道は恵那市内では苗木恵那線と重なっている。この部分を市道に置き換え、北ルートとあわせて、中津川市も恵那市も歴史の道としてのまちづくりを協働して考えたらどうかと思う。</p> <p>それと、地域協議会の中で話がでたのは、南の方には豊田明智線を含めた道路整備を急ぐことの方が大事であるという認識と合わせて、418号線が中濃との一番短距離の交通アクセスになると、この辺の具体化をさらに急いでいただくという事が必要だという意見が出た。</p>
磯部委員長	みなさんのご意見、ご質問などございましたらお願いします。
竹内アドバイザー	<p>今、市川委員から説明をして頂き、大変感動している。私が思っていた問題とまったく一致している。今、ご説明頂いた内容が第6章では十分に表現されていない。今の話に合わせて書き直すべきだと私は思う。特に図面。図面の凡例が書いてないので、大きい矢印とピンク色の丸印とどっちが優先されないといけないのかというようなことが分からない。それを文章でカバー出来るようにもう少し書き直して頂くといいと思う。</p> <p>私自身が付け加えることというと、広域アクセスに関するということでは、もう少し恵那市の主張が入った方がいいと思う。市内アクセスに関することとまちづくりに必要な基盤整備について、もう少し恵那市の中の農道も含めて、現状の道路網の基礎をみながら議論すべきだと思う。特に大事なのは、リニアの新駅ができるためにそこから訪問客を自分たちの地域にひっぱってくるにはどうしたらいいかという事。</p> <p>それと同時に、恵那市が抱えている基盤整備上の問題も一緒に解決しようという姿勢が重要だと思う。</p> <p>恵那市が今抱えている問題として、病院へ行く人をどう処理するかということだ。南の方の人たちが、みんなここの病院へ来ることになる。こういうものの交通処理を考える事が大事だ。</p> <p>今、交通量の混雑度の多いところは19号線だが、もうひとつ多いのは恵那白川線で、ここに問題はある。南の方の人たちが病院へ来る時にそこを通らなければいけない。</p> <p>恵那インターチェンジの周辺のところは実は今、恵那が抱えている道路網上の最大の問題点だと思う。</p> <p>これを解決しようという話で今の「北ルート」と言っている道路をうまく利用して、恵那駅の北側の開発をやってそこへアクセスするいうのもいい</p>

	<p>が、この病院のところを通過して線路と中央道を渡って南の方へ入ってくるルートというのを、この際、市道計画としては考えるべきではないのかという事だ。</p> <p>もうひとつは駅からすぐに中山道を歩くという人たちのために、ぜひ、県道は外して歩ける道にしたいということである。</p> <p>もうひとつ、明知鉄道を観光にもおおいに使いたいということであるならば冗談ではなしに、本気でこの明知鉄道を岡瀬沢地区を通過してリニア新駅まで延伸することを考えたかどうかと思う。他のぜひやるべきこととは、ちょっと違うと思うがそういう事も検討していくといいと思う。</p>
磯部委員長	<p>今までの話を聞いて更にご意見ご質問等ございましたら、願います。</p>
委員	<p>南部地域に住んでいるものとして、南部地域に対するアクセスといったものがイメージしにくい。当然、中心域から整備して頂くのは構わないと正直思っているが、そこから先、いずれは南部の方にもメリットがあると、道路も出来て早くアクセスできるイメージがないと住民がワクワクしない。すぐにそれをやってくれと言うつもりは毛頭ないが、先々は岩村そして山岡、明智地区と順番にアクセスできるよう道路整備に関する事に言及していただかないと、せっかく合併したのに意味ないという住民が南部地域に増えても良くないと思う。やはり1つの恵那として中心の人も考えているよというような施策を作っていただかないと、みんなで南部の人間も1つの恵那を作っていこうという機運が盛り上がってこないと思うので、それだけ提案させて頂きたい。すぐに織り込んでくれというつもりはないが、そのイメージは持ち続けて順番に進んで頂きたいと思う。</p>
磯部委員長	<p>例えば観光の分野だと岩村とか大正村だとか書いてある。まさにそれを繋ごうとしたら市内アクセスというところに繋がってくるはず。当然ながら市内アクセスというのは観光にだけ使うのではなくて市民の生活にも使うし、そこを上手く書いていかないと全体の整合性もないし、せっかくのアクセス、基盤整備も意味合いがないのかなと思うので、そのあたりの整合性が必要だと思う。</p> <p>ほかいかがか。7の章のシンボルプロジェクトを説明して頂いて、3, 4, 5, 6章の調整が出てくるかと思うので7章の説明をお願いします。</p>
事務局より第7章シンボルプロジェクトの説明	
磯部委員長	<p>今、1章から7章まで通してずっとやってきて7章ではシンボルプロジェクトと言って、はじめのころに竹内先生が話していた物語とかに近い話になっていると思う。全体通してでもいいので、何かご意見、ご質問等があったら伺いたいと思う。</p>
委員	<p>細かい事かもしれないが、プロジェクトは大変よく出来ていると思うが、恵那らしい食と恵那らしい農がそもそも分離されているところに農の最大の問題があり、恵那らしい食と農と言えれば解決すると思う。その食と農が密接に繋がっているという事をどこかに入れるといいと思う。</p>

磯部委員長	そういうご意見を頂いたので、また検討をさせて頂く。
委員	<p>この素案について私共は全体的なものにする為にはひとつ工夫をする必要があるんじゃないかと思う。北は飯地から南は串原まであり、例えば移住問題でも大井町、長島町における移住・定住と、飯地、串原における移住・定住というのはおよその趣が違って来る。従ってそういうひとつの捉え方の中で13地域が受け持つ分野を仕分けして、逆にそのことについて地域協議会はもっとこういうことが必要だというものを付け加えれば基本的な課題について、地域の取組みとなってくる。</p> <p>そうすることで、リニアと串原との関連が出てくる。あるいは飯地との関係が出てくる。従って13地域に課題を全部落とし込んで、それが本当にできることかできないことか、また新たにこういうこともあるぞというものを付け加えていく必要がある。そうすることによって13地域がリニアについての課題を同一目線でお互いに議論していけるのではないかと思うので、事務局として考えておいて頂きたい。</p>
磯部委員長	今の話を進めることによって市民が主体的になって動けるようになる。そういうことだ。
竹内アドバイザー	<p>4章のリニアを生かした観光振興、地域振興の取組みというところで、観光振興と地域振興を抱き合わせたところが少しこの構想案の構成をまずくしているのではと思う。</p> <p>確かにこれからの観光は地場産業としての観光おこしが大事で、その地域の人たちが自分たちの暮らしを楽しむようにならなければ、いい観光にならないと私は考えている。その意味では観光振興と地域の人々の暮らしを抱き合わせるのは結構だと思う。岐阜県の会議でもそのように組み合わせている。</p> <p>観光振興と地域の人々の暮らしのための取組みという事にし、先ほど病院の問題とか、それからこの機会に便乗して、南の旧町村の地区の方々の暮らしをどうリニア新幹線のこと結び付けていくかというような話も少し書き込んだ方がいいと思う。</p> <p>5章の方をリニアを生かした産業振興・地域振興のための取組みという事で、地域振興と産業振興が結び付け、産業振興の中で観光産業も扱わないといけないということだ。それ以外のことも地域振興の話はこっちに移した方がうまくいくのではないかなと思う。</p>
磯部委員長	<p>おそらく観光と地域振興は実は暮らしのことだったはず。地域振興という言葉は5章に回したほうが整合性が取れるというご意見だ。また検討をお願いしたい。</p> <p>その他いかがか。全体的な構成のメリハリというか見えてきたので、次はもっといいものにできると思う。</p> <p>続いて今後の進め方について説明する。</p>
事務局より今後の進め方についての資料説明	

磯部委員長	今日以降のスケジュールの話題だが何かご質問等があるか。
事務局より J R 東海の状況ということでの資料説明	
磯部委員長	この点に関して何かご質問等があるか。それでは議事進行は私のところで終わりにさせていただく。
事務局	たくさんのご審議をありがとうございました。それでは今日の締め括りと致しまして山本副委員長から終わりのご挨拶をお願いしたい。
山本副委員長	大変お忙しいところ、こうして長時間に渡りまして、ご参加頂きありがとうございました。一応の素案で、最初事務局は言っていないが皆様方から頂いたご意見を全て幕の内弁当のように出している。これからいろんな検討に入るわけだが、こちらの A3 用紙にあるように検討するあるいは実行するそう言った見極めを付けていくのが今後の作業と考えている。皆様方から頂いたご意見はご意見として網羅されていると考えているので、何かあったら、事務局の方にお伝え頂きたいと思う。それから事務局の方にひとつお願いを申し上げておきたい。予定よりもかなり長い時間かかっている。皆様方にお配りした資料を読むだけの説明はやめて頂きたい。忙しい方がそういった時間をやり繰りして出ているので、出来ればそういった形で書いてない事をご説明頂くのは結構だが、書いてある事を再度読むという説明を出来れば避けて頂きたい。という事をお願いして、最後のご挨拶とさせて頂く。

17 : 20 分 終了